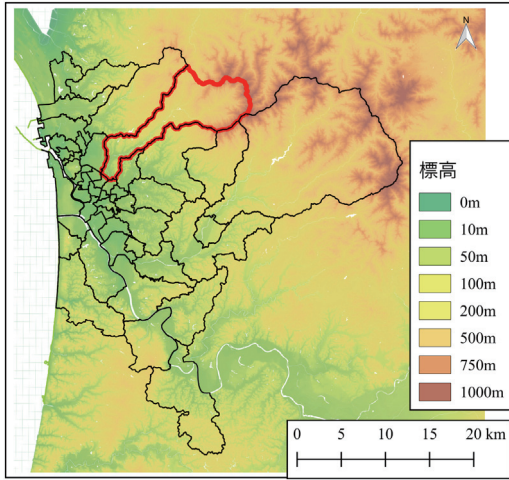


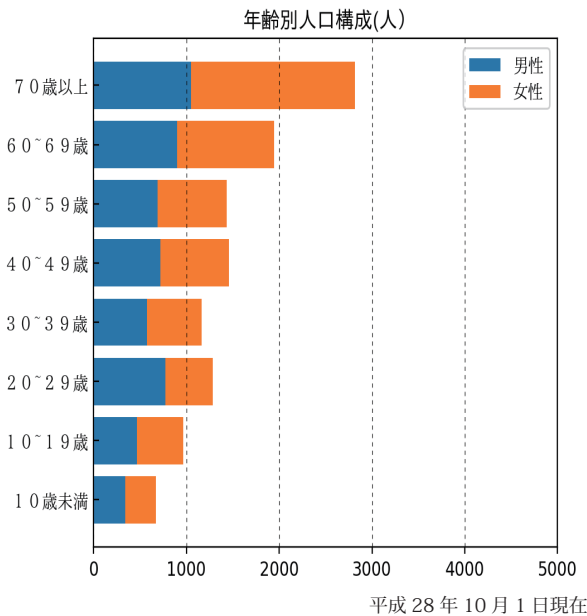
11：旭川小学校区

位置図



1 居住者の現況

人口	11,724 人
世帯数	5,401 世帯
65 歳以上人口	3,878 人
10 歳未満人口	671 人



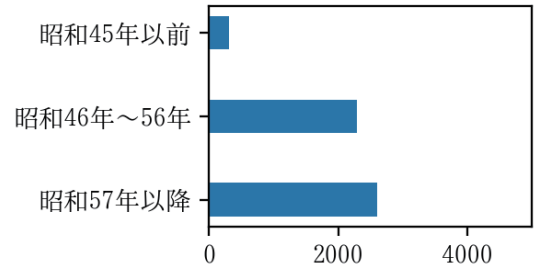
2 建物に関する指標

■ 構造別建物棟数(棟)

	棟
木造建物	5199
非木造建物	341

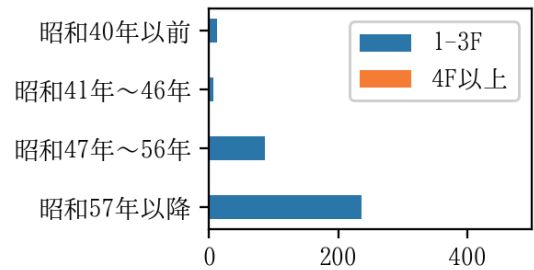
■ 建築年代別木造建物棟数(棟)

	棟
昭和57年以降	2,602
昭和46年~56年	2,294
昭和45年以前	303



■ 建築年代別非木造建物棟数(棟)

	1-3F	4F以上
昭和57年以降	236	1
昭和47年~56年	86	0
昭和41年~46年	6	0
昭和40年以前	12	0



平成 22 年 8 月現在

自然的・社会的基本指標

北東から南西方向に流れる旭川に沿って秋田市中心部から太平山までを含む約 70 平方 km に及ぶ広大な地域である。学校区内の人口は約 12,000 人であり、濁川、新藤田、手形地区など旭川沿いの平地部に集中している。50 歳以上の住民が約半数を占め、65 歳以上の高齢者層は全体の約 33% である。木造建物が多い。昭和 56 年以後の建物は全体の 51% を占める。

3 自然災害に関する指標 (平成 29 年 3 月現在)

■ 洪水

指定河川	旭川		
浸水面積 (%)	0.7		
最大浸水深 (m)	ランク 5		

■ 土砂災害

* 土砂災害危険箇所

種別	箇所数	主な指定箇所
急傾斜地崩壊危険箇所	27	仁別、長田、湯沢、井戸尻、後田、堀尾田、高梨台、中山台、手形山北町、他
土石流危険溪流	37	吉ヶ沢、大台沢、イノ沢、蛇馬目沢、水沢、藤倉沢、ヤリ沢、メゴダ沢、乗福寺沢 他
地すべり危険箇所	1	仁別
なだれ危険箇所	25	上台、蓬田、添川、外旭川山崎、井戸尻、後田、堀尾田、泉三嶽根、高梨台 他

* 土砂災害警戒区域

種別	箇所数	主な指定箇所
土砂災害警戒区域	19	地の内沢、堀尾田沢 1、2、3、4、後田沢 2 他
うち土砂災害特別警戒区域をふくむもの		

■ 地震および津波

* 地震 (どこにでも起こりうる直下の地震: M6.9)

平均震度	震度 6 弱	
(計測震度)	(5.67)	
震度 6 強以上となる面積 (%)	1	
液状化危険度ランク	4	
建物全壊率 (%)	8.1	

* 津波 (秋田県沖の地震で A,B,C 領域が連動した場合)

浸水面積 (%)	(該当なし)
最大浸水深 (m)	(該当なし)

4 災害時要配慮者に関する指標 (平成 29 年 3 月現在)

■ 要支援者関連施設 (収容施設のみ)

種別	施設数
高齢者支援	18
婦人幼児支援	0
障がい者等支援	11

■ 幼稚園・保育所等

種別	施設数
保育所等	2
こども園	1
幼稚園	0

■ 学童支援施設

種別	施設数
児童館等	3

■ 学校等

種別	施設数
小学校	1
中学校	0
高等学校	1
大学・短大・高専	0
養護学校等	0

5 防火・防災施設に関する指標 (平成 29 年 3 月現在)

■ 消防関連施設

消火栓数 (箇所)	127
防火水槽 (箇所)	14
消防車台数 (台)	11
消防ポンプ数 (台)	5
消防団員数 (人)	61

■ 避難所/避難場所 (別表参照)

災害種別	施設数
洪水	4
土砂災害	0
地震	4
津波	0
福祉避難所	7
津波避難ビル	0
津波警報サイレン	0

■ 救急・防災関連施設

種別	名称/箇所数
管轄消防署	土崎消防署
管轄警察署	秋田臨港警察署
病院・医院数 (歯科を除く)	8
最寄りの救急告示病院	秋田厚生医療センター
自主防災組織数	21

自然災害時の危険要素

旭川の氾濫による浸水が添川地区の左右岸、新藤田地区の左岸部で想定されている。

学校区内は山間地および丘陵地であることから、土砂災害危険箇所は多数あり、しかも警戒区域等として 19 箇所 (急傾斜 13 箇所、土石流 6 箇所) が指定を受けている。

地震動については、学校区南西部の平地部 (泉地区) と旭川沿いの平地部など、沖積層が分布する場所でやや揺れやすい。津波による浸水の危険性は極めて低いと想定されている。

防災上の課題と対策

手形地区北部より旭川上流区域を含む学校区であり、同じ学校区内でも災害時の状況に差があると考えられる。上流区域では土砂災害の危険性が高く、大雨時には斜面の崩壊や土砂の流下による住宅ならびに避難経路への影響にも注意が必要である。また、最上流には、ダム・水源地やリクリエーション施設があることから、施設利用者の避難方法の確保などについての検討が必要である。

旭川中流域の添川、新藤田、泉地区では、人口および建物の集中度が高く、都市型の災害となることが懸念される。避難施設は中流域に限られており、指定避難所の収容可能人員は限定されていることから、学校区内外の避難施設の位置を住民に周知し、住民が自ら災害時に的確な判断で避難行動ができることが望ましい。本学校区には災害時要配

慮者施設も多いが、秋田市中心部に通じる道路が限定されるため、要配慮者や負傷者等の搬送が困難となるおそれがある。このような地域性を防災訓練等に取り入れることで訓練をより有効なものにできると期待される。

■ 避難所・避難場所

施設	指定避難所	緊急避難場所					収容人員
		災害の種類（○のみ利用可）					
		洪水	がけ崩れ/ 土石流	地震	津波	大規模火災	
旭川地区コミュニティセンター	○	○	x	○	x	x	122人
旭川小学校（体育館）	○	○	x	○	x	x	338人
旭川小学校グラウンド	x	○	x	○	x	x	2,715人
平和公園	x	○	x	○	x	x	30,000人

福祉避難所

施設	所在地	電話番号
特別養護老人ホーム 光峰苑	添川字鶴木台 65-3	018-868-1188
光峰苑デイサービスセンター	添川字鶴木台 65-3	018-868-7400
光峰苑ショートステイケア ホテル鶴木台	添川字鶴木台 65-3	018-868-3211
特別養護老人ホーム 魁聖園	新藤田字治郎沢 52-6	018-884-1071
魁聖園短期入所生活介護事業所	新藤田字治郎沢 52-6	018-884-1071
魁聖園デイサービスセンター	新藤田字治郎沢 52-6	018-884-1071
魁聖園ケアハウス	新藤田字治郎沢 52-6	018-884-1071

津波避難ビル

施設	所在地	利用可能範囲	収容人員
(該当なし)			

津波警報サイレン

施設	所在地
(該当なし)	

